

【徒然草】

【】(ちんじんのじゆは)

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

よろづのことは、月見るに「**レ**、慰むものなれ。ある人の月ばかり面白きものはあらじと言ひしに、またひとり露こそあはれなれと争ひこそ、をかしけれ。折りにふれば、何かはあはれならざらん。

(徒然草)

問一 「よろづの」を口語に言い換えて書け。

問二 「**レ**」に入る平仮名二字の言葉を文章中から抜き出せ。

問三 文章中には筆者以外の二人が論争している内容が含まれている。

(A)二人の発言の部分を、それぞれ文中のまま抜き出せ。

(B)二人の主張に対して、筆者はどのような考えを述べているか。最も適当なものを次から選べ。

A 月を見ていると心が慰められるので、月がよい。

I 露のほうが美しく、すばらしいものだと思う。

U 両者ともよい意見で、どちらが正しいかよく分からない。

E よい時期のものに接すれば、どのようなものでも趣深い。

(奈良県)

「解答」

問一 すべての

問二 コネ

問三 (A) 月ばかり面白きものはあざじ・驕こそあはれなれ (B) H